

精神ヲ變シタリトモ見ヘス是故ニ家屋又ハ建造物ヲ漂失シタル結果  
アラハ犯者ノ目的ハ唯堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞スルニ在リテ毫  
モ家屋又ハ建造物ヲ害スルニ在ラスト雖本條ヲ以テ之ヲ罰シ之ニ  
反シテ人ノ家屋ヲ潰失セシムルノ目的ニテ堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ  
毀壞スルモ其結果ヲ生セサレハ本條ノ罪トナラスト論結セサルヘカ  
ラス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等

ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條モ亦前條ト同シク結果ニ就キテ罰シタルモノナリ故ニ荒廢ノ結  
果ヲ生セサレハ本條ノ罪トナラス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ

堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照

シテ處斷ス

前二條ハ説明ヲ待タスシテ了解スルヲ得ヘシ

### 第九節 船舶ヲ覆沒スル罪

本節モ亦性質上物件毀壞ノ罪ナリ前二節ノ罪ハ毀壞ノ結果及ヒ方法  
ノ最モ重大ナル者ニ付キテ規定シ本節ノ罪ハ方法ノ重大ナルヨリハ  
寧ロ結果ノ重大ナル毀壞罪ヲ規定シタルモノトス

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船舶ヲ

覆沒シタル者ハ死刑ニ處ス但シ船中死亡ナキ時ハ無期徒刑

ニ處ス

刑法

「衝突」トハ文辭ノ指スカ如ク船舶ニ衝キ當ツルヲイヒ「其他ノ方法」トハ船舶ニ穴ヲ鑿チ或ハ水雷火ヲ用井タルカ如キ所爲ヲ謂フ「乗載」云云、是レ第四百五條ニ於ケル乗載ト同一ニ解スヘク即チ人ノ現在シタル時ノミチ想像シタルナリ

「覆没」トハ船ノ水中ニ没入シタルヲ謂フ因テ衝突シテ船ノ淺瀬ニ乗上ケタル場合ノ如キハ覆没ト謂フヲ得ス然レモ此ノ如キ場合ハ覆没ト殆ト同一ノ結果ヲ生スルヲ有リ蓋シ淺瀬ニ乗上ケタル時ハ船舩覆没シタルニ非サレハ再ヒ水中ニ援キ下ストヲ得ルト雖モ若シ下手者獨リ短艇ニ乗シテ逃レ去リテ乗組人ハ死ヲ待ツノ外ニ逃去ノ術ナキ場合ノ如キハ船舩ノ覆没シタル場合ト大差ナシ而シテ本條ヲ適用スルヲ得サルハ實ニ不都合ト謂フ可シ草案モ亦初メ「滅失」テウ文辭ヲ用井タルモ後更ニ一條ヲ追加シテ所謂滅失ノ適用ヲ廣クセラレタリ曰ク

「前々條ヲ適用スルニ際シ船舶衝突シテ他人ノ救助ヲ求ムルニ非サレハ決シテ航海ヲ繼續シ得サルカ又ハ船舶ノ乗掛ケタルニ因リ自力ノミチ以テ浮フトヲ得サル時ハ其船舶滅失シタル者ト看做ス」再閱修正草案第四百六十二條第二

此條文タル直チニ以テ現行刑法ニ適用スヘカラスト雖モ亦大ニ參考トナスニ足ル

船舶ノ覆没ニ關シ本條ト彼ノ往來通信ヲ妨害スル罪トノ關係ヲ明ニスルヲ要ス往來通信ヲ妨害スル罪ヲ規定シタル第百六十六條ニハ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示シタル罪ヲ規定シ第百六十九條ニハ第百六十六條ニ規定セル罪ヲ犯シ因テ船舶ヲ覆没シタル罪ヲ規定セリ乃チ爰ニ燈臺ヲ損壞シ船舶ヲシテ暗礁ニ衝突セシメテ覆没シタル所爲ハ第百六十九條ヲ以テ罰

スヘキニ似タレモ本條ノ「其他ノ所爲ヲ以テ」云々ニモ該當スルカ如シ知ラス孰レノ罪トシテ論スルカ曰ク此兩個ノ犯罪ハ目的ヲ以テ相區別スルヲ要ス即チ第六十六九條ノ兩條ハ往來通信ヲ妨害スルノ意アルヲ要ス故ニ往來通信ヲ妨害スル目的ヲ以テ燈臺ヲ損壞シ其結果船舶ヲ覆没シタル時ハ第六十九條ニ問ハサル可カラス之ニ反シテ本條ハ故意ニ船舶ヲ覆没スルノ意ニテ爲シタルヲ要スルカ故ニ往來通信ヲ妨害スルノ目的ニ非スシテ唯船舶ヲ覆没スルノ意ニテ覆没セシメタル時ハ本條ニ擬セサル可カラサルナリ又第六十六條第六十九條ノ罪ハ必スシモ特定ノ船舶ニ對シテ爲シタルヲ要セサレモ本條ノ罪ハ必ス特定ノ船舶ヲ覆没セシメントシテ犯シタルヲ要スルナリ兩條ノ罪ノ目的此ノ如ク相違スルヲ以テ其適用ヲ註ル丁無キヲ要ス

本條ノ罪ハ目的如何ニ拘ハラス覆没ノ結果ヲ生セサレハ之ヲ罰スルヲ得サルカ或ハ船舶ヲ覆没スルノ目的ニテ衝突其他ノ所爲アレハ覆没ノ結果ヲ生セスト雖モ本條ノ罪トナルカ別言スレハ本條ハ覆没ヲ以テ犯罪構成ノ要素トスルカ或ハ覆没ヲ構成ノ要素ト爲サルカ略言スレハ本條ハ結果ヲ罰スル罪ナリヤ或ハ目的ヲ罰スル罪ナリヤ之ヲ孰レニ決定スルモ共ニ大ナル結果ヲ生ス今夫レ本條ハ目的ヲ罰スル條文トスレハ下ノ結果ヲ生ス曰ク近來海商ノ業大ニ發達シタルト同時ニ競争モ亦甚シク故ラニ競争者ノ船舶ニ衝突スル丁往々之アリ此場合ハ其目的決シテ覆没ニ非ス故ニ船舶覆没スルモ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ス之ヲ本節ニ求ムルニ他ニ罰スヘキ條文ナキニヨリ已ムヲ得ス人ノ器物ヲ毀棄スル罪即チ第四百二十一條ヲ以テ之ヲ罰スヘキヤ此條ノ罪ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮又ハ三圓以上三十圓

以下ノ罰金ヲ科スルモ本條ノ罪ハ死刑又ハ無期徒刑ナリ此ノ如キ重大ノ所爲ヲ此ノ如キ輕刑ニ問フ誰カ之ヲ妥當ト爲サンヤ之ニ反シテ本條ノ罪ハ結果ヲ罰ストセハ前條ノ如キハ覆沒スレハ即チ無論本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ヘシト雖モ其覆沒セサル時ハ之ヲ無罪トセサルヲ得ス極言スレハ覆沒ノ意思ニテ衝突シタルモ他ノ事情ノ爲メニ偶々其目的ヲ達スルヲ得サル時ト雖モ之ヲ本條ノ未遂犯ト爲スヲ得ス(結果ヲ罪スル犯罪ニ未遂犯ナキハ屢辯シタル所ナリ)但シ覆沒ヲ生セサルモ船体ヲ毀損シタル時ハ亦第四百二十一條ニ問フヲ得ヘキモ其不都合ナルハ前ト同様ナリ此ノ本條ハ孰レニスルモ重大ナル結果ヲ生スルヲ免レス而シテ我立法者ノ精神ハ孰レニ在リヤ茫トシテ明ナラス佛文草案ニ徵スルニ草案ノ正條ハ結果ニ就キテ罰シタルカ如シト雖モ其註釋ニ據レハ目的ヲ罰スルカ如シ因テ我立法者ノ精神モ

亦起草者ト同一ナリト爲スモ不都合ノ結果ヲ生スルヲ彼カ如ク其レ大ナリ要スルニ本條ノ規定完備セサルノ結果ト爲サル可カラサルナリ

本條ノ船舶ハ犯者ノ所有タルト他人ノ所有タルトヲ問ハサルハ第四百五條第一項ニ於ケルカ如シ

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆沒シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條ノ罪ハ前條ニ比シテ刑ノ甚々輕キハ人ヲ乘載セサルカ故ニ人ノ生命ニ危害ヲ加フルノ虞之アラサルナリ

前條ノ船舶ハ自己ニ屬スルト他人ニ屬スルトヲ區別セス之ニ反シテ本條ノ船舶ハ必ス他人ニ屬スルヲ要ス故ニ其自己ニ屬スル時ハ罪トナラス放火罪ニテハ人ノ住居セサル自己ノ家屋モ亦罪ノ目的物トナ

リシカ是レ放火罪ノ性費トシテ社會公衆ニ危險ヲ及ホスヲ以テ然ルモノナレト人ヲ乗載セサル船舶ニシテ自己ニ屬スルモノナルキハ之ヲ覆没スルモ以テ社會公衆ヲ害スルヲ無シ是レ之ヲ罪ト爲サ、ル以所ナリ、若シ自己ノ船舶モ亦本條ノ罪ノ目的トナルトスレハ實ニ奇ナル結果ヲ生ス即チ自己ノ所有ニ係リ人ノ住居セサル家屋ニ放火スレハ僅ニ重禁錮ニ止マリ(第四百七條)自己ノ所有ニ係リ人ヲ乗載セサル船舶ヲ覆没スレハ輕懲役ヲ科ス(本條)豈不權衡ノ甚シキニ非スヤ故ニ云ク本條ハ船舶カ他人ノ所有ニ係ル場合ニ非サレハ罪トセスト、然ラハ他人ニ抵當典物ト爲シ又ハ保險ニ附シタル船舶モ亦其所有權自己ニ屬スルカ故ニ無罪ナルカ、現行法ノ適用論トシテハ無罪アリ草案ハ實ニ此場合ヲ想像セリ曰ク自己ノ所有ニ係ルト雖モ保險ニ附シ又ハ抵當典物ト爲シタル船舶ヲ故サラニ覆没シタル者ハ他人ノ船舶ト

同ク論スト(佛文草案第四百六十三條、日本文草案第四百六十二條)此削除ハ實ニ遺憾ト謂ハサル可カラス

### 第十節 家屋物品ヲ毀壞シ動植物ヲ害スル罪

本條ノ罪ヲ成スニハ惡意アルヲ要ス人動モスレハ輒チ曰ク本節ノ罪ハ所有權ヲ害スル點ヲ罰シタルモノナリト然レト本節ノ罪ハ單ニ所有權ヲ害スル點ノミヲ罰シタリトスレハ惡意ナク唯故意ヲ以テ物件ヲ害シタル場合ノミニテモ亦罪トナルト謂ハサル可カラス例ハ隣家ノ樹枝吾地内ニ向ヒテ生長シ光線ヲ遮蔽スルヲ以テ無斷ニテ一部分ヲ伐採シテ其害ヲ除キタルカ如キ害ヲ除クノ意思コソ有レ惡意ナシ而シテ猶ホ之ヲ罰セサル可カラサルニ至ル又善意ニテ物件ヲ毀損毀棄シタル場合例ハ隣家ノ牆ヲ修繕セント欲シテ之ヲ取毀チタル

カ如キモ故意アルニヨリ罪ヲ成スト謂ハサル可カラス是ヲ以テ本節ハ放火洪水等ノ罪トハ全ク異ニシテ惡意ヲ證明スルニ非スンハ罪トナラサルナリ

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ノ罪ハ第十節中最モ重大ナル所爲ニシテ往々人ノ生命ニ危害ヲ及ホス丁有リ

本條第一項ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ三條件ヲ要ス

第一、家屋其他ノ建造物ヲ毀壞スル丁ヲ要ス

第二、人ノ所有ニ屬スル家屋其他ノ建造物タル丁ヲ要ス

第三、惡意アル丁ヲ要ス

此三條件ヲ具備スル時ハ一月以上五年以下ノ重禁錮二圓以上五十圓以下ノ附加罰金ニ處セラレ此ク主刑期間ノ長キハ本法中其類ヲ見サル所ナリ是レ本條ノ毀壞ハ其結果ニ著ク大小輕重ノ差違アルト毀壞ヲ受クル物件ノ區域甚ダ廣キトニ由ルモノトス

本條第二項ハ一見スレハ毫モ不都合ノ點ナキカ如シト雖モ其規定當ヲ失シ甚ダ不都合ノ結果ヲ生ス第一犯罪ノ結果人ヲ死傷ニ致ス場合ハ唯本條第一項ノ場合ニ於テノミ生セス次條以下ノ場合ニモ亦生ス可シ而ルニ獨リ本條ニノミ規定シタルハ其當ヲ失シタルニ非スシテ何ソヤ第二放火罪、船舶覆沒罪、洪水罪ニモ亦因テ以テ人ヲ死傷ニ致スノ結果ヲ生スルモノトス而ルニ此ニノミ規定シテ彼ニハ毫モ規定ナ

シ是レ亦甚々不都合ナリ但シ放火決水等ノ罪ハ人ヲ死傷ニ致スノ結果ヲ豫想シ死刑ヲ以テ之ヲ責罰スルカ故ニ本項ニ於ケルカ如キ規定ヲ爲スノ必要ナシト云ヒ得ルカ如シト雖モ是レ一ヲ知リテ未ダ二ヲ知ラサル者ト謂ハサル可カラズ例ヘハ自己ノ家屋ニ放火(人ノ住居セサル場合)シ延ヒテ他人ノ家ヲ燒キ因テ死傷ノ結果ヲ生シタル時ハ放火罪ノ下ニ本項ノ如キ規定ナキヲ以テ毆打創傷罪ニ照シ重キニ從ヒテ處斷スルヲ得サル可シ豈不都合ニアラスヤ因テ本項ヲ此ニ置クノ必要アラハ放火決水等ノ場合ニモ亦之ヲ規定スルノ必要アリ一步ヲ進メテ之ヲ云ヘハ本項ニ於ケルカ如キ規定ハ少クトモ過失殺傷罪ノ條下ニ規定スルヲ可トス蓋シ本法ノ過失殺傷ハ疎虞懈怠規則不遵守ノ結果過チテ人ヲ死傷ニ致シタル場合即チ無意ノ所爲ノ結果偶々人ヲ死傷ニ致シタル場合ヲ想像シタルノミニシテ本條ノ如キ有意ノ所爲

ノ結果人ヲ死傷ニ致シタル場合ヲ想像セズ有爲ノ所爲ノ結果人ヲ死傷ニ致スハ決シテ毀壞罪ノミニ限ラス而シテ此ノ如キ場合ハ彼ノ疎虞懈怠規則不遵守ノ場合ヨリハ寧ロ罪度重カラサルヲ得ス而ルニ本法ハ過失殺傷ノ下ニモ之ヲ規定セズ實ニ不都合ト謂ハサルヲ得ス本條ノ家屋其他ノ建造物ハ必ス其所有權ノ他人ニ屬スルヲ要ス是レ「人ノ家屋」云々ト規定シタル所以ナリ故ニ他人ニ抵當典物ヲ爲シ又ハ保險ニ附シタル家屋其他ノ建造物ヲ毀壞スルモ罪トナラズト謂ハサル可カラス之ヲ放火罪ニ於ケル第四百二條ニ比スルニ大ニ權衡ヲ失ハスト謂ハサルヲ得ス

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ説明ヲ要セスシテ明瞭ナリ

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者

ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ俗ニ所謂野暴ト稱スルモノヲ想像シタルナリ、毀損トハ毀壞ヨリ一層廣キ意義ヲ有ス例ヘハ棍棒ヲ以テ竹木ヲ打倒シ又ハ足ニテ稻若クハ麥ヲ蹂躪スルカ如キハ之ヲ毀壞トイフ甚ダ妥當ナリト雖モ藥物ヲ散敷シテ種子ヲシテ發芽セサシメタルカ如キハ之ヲ毀壞トイフヲ得ス何トナレハ毀壞ハ有形的ニ結果ヲ表ハシタルヲ想像スレト此場合ノ如キハ植物ヲ無形ニ損シタルモノナレハナリ故ニ本條ニハ特ニ毀損トイヒ有形無形共ニ之ヲ包含セシメタリ佛國ニ實例ノ生シタルト有リ甲農夫ノ投シタル種子ノ將サニ發芽セントスルニ當

リ乙兇漢多ク雜草ノ種子ヲ其田園ニ散敷シタリ因テ雜草苗トシテ繁茂シ終ニ良種ヲシテ發育セサシメタリ而ルニ佛國ノ刑法ニテハ毀壞ノ文辭ヲ用非タレト該國裁判所ハ右ノ場合ヲ植物毀壞罪ニ問ヒタリトイフ然レト毀壞トシテ之ヲ論スルハ稍附會タルヲ免レス此等不都合ノ先例モ之レ有ルニヨリ我立法者ハ特ニ毀損テウ廣義ノ文辭ヲ用非タルナリ

本條ノ罪ハ盜罪ニ於ケル第三百七十二、三ノ兩條ト相混淆スル無キヲ要ス彼レハ田野ニ在ル穀類山林ニ於ケル竹木等ヲ人ノ所持中ヨリ奪取スルニ依ル此ハ奪取スルニ非スシテ地上ニ附着シタル儘ニテ毀損スル場合ナリ換言スレハ彼ハ植物ニ動産ノ性質ヲ帶ハシメテ奪取スルモノニシテ此ハ植物ヲ固有ノ性質即チ不動産トシテ毀損スル場合ナリト是故ニ其目的植物ヲ毀損スルニ在リト雖モ奪取シ去リテ之



ヲ毀損シタルハ竊盜罪ニシテ本條ノ罪ニアラサルナリ

第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉

シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ説明ヲ要セス

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月

以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ動産物ニ關スル毀棄ノ基本トナル可キ者ニシテ前後諸條ニ規定セサル動産物ヲ毀棄シタルモノハ總テ本條ヲ以テ罰ス可キモノトス

本條ニ人ノ器物ト有リ、通常器物トイヘハ火鉢、筆筒等ノ家什、其他農工商業ニ用ヰル器械等ヲ稱シ一般ノ動産物ヲ表ハスニハ器物ト稱セス

例ヘハ衣服書物ノ如キハ通常器物ト稱セス故ニ若シ衣服書物等ヲ毀棄シタル者ハ本條ヲ以テ論スルノ限ニ在ラサルカ如シ然レモ文字ニ拘泥シテ解釋スレハ或ハ然ルヘキモ本條ハ此ク限定シタル法文ニ非サルナリ今之ヲ草案ニ徵スルニ草案ニハ「他人ニ屬スル食品商品其他ノ動産ヲ棄毀損壞シテ其用ニ適セサラシメタルモノ」云々トアリテ甚ダ廣義ヲ記サレタリ而ルニ現行法ハ之ヲ改竄シテ「器物ヲ毀棄シ」云々ト爲シタルハ草案ノ條意ヲ狭クスルカ爲メニ非スシテ器物ノ文辭ハ草案ニアル總テノ物品ヲ包容シタル所ノ極メテ適當ノ文辭ナリト思考シタルニ由ル蓋シ本條ノ罪ハ舊律ノ棄毀器物稼穡ノ罪ニ該當シ新律綱領ニ曰ク「凡人ノ器物ヲ棄毀シ及ヒ樹木稼穡ヲ毀伐スル者」云々トアリ立法者ハ其所謂器物テウ文辭ヲ直チニ採用シテ大ニ可ナリト思惟シタルモノナリ若シ然ラスシテ本條ハ唯通常稱スル所ノ器物ノ

ミテ想像シタリトイハシカ實ニ其愚ヲ笑ハサルヲ得ス我立法者安ソ此ノ如キ愚ヲ學ハンヤ故ニ曰ク本條ノ器物トハ廣義ニ解釋シ前後諸條ニ規定セサル動産物ハ總テ之ヲ包含スルモノナリト然レモ此文辭ノ不妥ハ決シテ免ルヘカラス故ニ改正ノ時ハ適當ノ文辭ヲ用ヰルヲ要ス

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下

ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

牛馬モ亦一ノ動産物ナリ故ニ特ニ本條ヲ設ケサルモ人ノ牛馬ヲ殺ス者ハ前條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ヘシ然リ而シテ此ニ本條ノ設ケアルハ牛馬ハ殊ニ必要ノ家畜ナルヲ以テナリ然リト雖モ綿羊ノ類ハ果シテ牛馬ノ如ク必要ナラサル歟予ハ其必要ノ點ニ於テハ太差ナキヲ信ス而シテ本條ハ之ヲ缺漏セリ又立法者ハ必要ノ一點ヨリシテ本條ヲ

設ケタリトスレハ何故ニ美術品ニ付キテ一條ヲ設ケサル歟我國ニテハ美術ハ國光ヲ發揚スルノ最大必要物ニシテ國人ハ特得ノ技倆ヲ有ス是ヲ以テ外人、我國ヲ稱シテ美術國ト曰フニ至レリ因テ牛馬ヲ規定スルノ必要アラハ特ニ美術品ヲモ規定スルノ必要アリ要スルニ本條ハ不完全ヲ免レス

「牛馬ヲ殺シタル者」ト有リ故ニ牛馬ヲ殺ス目的ニテ殺害ヲ加ヘタリト雖モ意外ノ障礙ノ爲メニ創傷ニ止マリタル時ハ本條ノ未遂犯ヲ以テ之ヲ論スルヲ得ス何トナレハ本條ノ罪ハ輕罪ナルヲ以テ其未遂犯ヲ罰スルニハ特ニ規定ヲ要ス今本節ニ本條ノ未遂犯ヲ罰スルノ條文ナキヲ以テナリ因テ此場合ニハ前條ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラス不都合ト謂フ可シ

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ  
其罪ヲ論ス

本條ハ親告罪ノ一種ナリ其規定ノ理由ノ如キハ多言セスシテ知了ス  
ヘシ

第四百二十四條 人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シ  
タル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓  
以下ノ罰金ヲ附加ス

「人ノ權利義務ニ關スル證書類」ノ文辭ハ人ノ權利ニ關スル證書類ト爲  
スヲ要ス蓋シ權利ヲ證スルモノハ其反對ニテ必ス義務ヲ證スルモノ  
ナレハ別ニ妥當ヲ缺クノ文辭ニ非サルカ如シト雖モ本條ノ被害者ハ  
義務者ニ非スシテ權利者ナリトス義務者ハ證書ノ毀棄滅盡ニヨリ却  
利益ヲ得ルモノナレハナリ是故ニ「義務」ノ文辭ハ之ヲ削除スルヲ可

トス

爰ニ一疑問有リ本條ノ「毀棄滅盡」トイフ文辭中ニハ無形上ノ棄毀滅盡  
ヲ含ム歟例ヘハ證書ノ印影ヲ塗抹シタルモノハ有形上毫モ毀棄滅盡  
セスト雖モ之カ爲メニ或ハ證書ノ効力ヲ失墜スルヲ以テ無形上ニ毀  
棄滅盡セルモノナリ此場合ハ本條ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ル歟曰ク本  
條ノ「毀棄滅盡」ノ文辭ハ唯有形上ノ場合ノミヲ想像シタルニ非サル  
ハ猶ホ第四百十九條ノ毀損ノ文辭ニ於ケルカ如シ草案ニハ「毀壞又ハ  
使用シ得可カラサルニ致シタル者」云々トイヒテ明ニ有形無形ノ場合  
ヲ想像シタリキ本條ハ特ニ其精神ヲ變シタリトモ見ヘス且毀棄ノ文  
辭ヨリ之ヲ言フモ無形ノ場合ヲ包含ストイフモ敢テ不可ナル無シ因  
テ法文上ニテハ無論無形上ノ毀棄滅盡ヲモ包含シタリト解スルヲ妥  
當ト爲ス而シテ法理上ヨリ云ヘハ其有形無形共ニ同一ノ結果ヲ生ス

ルヲ以テ同一ニ責罰スルノ必要アリ從ヒテ我立法者必ス此ニ慮リダ  
リト看ルヲ得ヘシ佛國大審院ニテハ現ニ該國刑法ニ毀壞トノミア  
ルニモ拘ハラス無形上ノ毀棄滅盡ヲモ罰シタルノ判例アリ而ルヲ況  
ヤ本條ニハ毀棄トアルニ於テナヤ  
本條ノ證書ハ私文書ナルヲ要ス何トナレハ其官文書ニ係ル毀棄ハ第  
二百二條以下ニ規定セラレタレハナリ

#### 第四編 違警罪

我刑法ハ罪ヲ三種ニ分テテ第一ヲ重罪トシ第二ヲ輕罪トシ第三ヲ違  
警罪トス本編ハ則チ其違警罪ニシテ即チ警察規則ニ背キタル罪ナリ  
然レモ本編規定スル諸種ノ犯罪ヲ見ルニ必スシモ警察規則ニ背キタ  
ル所爲ノミニ限ラス例ヘハ公然人ヲ罵詈嘲弄スル罪(第四百二十六條  
十二)人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル罪(第四百二十五條九)ノ如キハ

彼ノ誹毀罪毆打創傷罪ト全ク其性質ヲ同フシ唯タ罪度ノ甚々輕キモ  
ノ、ミ因テ之ヲ違警罪中ニ編入スルハ妥當ナラス然レモ此種ノ罪マ  
ル之ヲ重罪ト爲スハ其不當ナルヲ勿論之ヲ輕罪ト爲スモ尙ホ其所爲  
ノ輕キニ過クシテ以テ立法者ハ之ヲ本編中ニ規定シタルモノナラン  
歟

本編ノ罪即チ違警罪ハ多ク無意犯ナリ例ヘハ公然人ヲ罵詈嘲弄スル  
罪若クハ人ヲ毆打シテ創傷ニ至ラサル罪ノ如キハ有意ニアラサレハ  
之ヲ罰セスト雖モ其他多クノ場合ハ無意犯ナリトス總則第七十七條  
ニ罪ヲ犯ス意ナキ所爲ハ其罪ヲ論セス但シ法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ  
定メタルモノハ此限ニ在ラスト有ル但書ノ場合ハ即チ違警罪ノ如キ  
ヲ指シタルモノナリ。何故ニ違警罪ハ犯意ナキモ之ヲ罰スルヤ犯意  
ナキ所爲ヲ罰スルハ背德加害ノ所爲ヲ罰ストイフ刑法ノ大原則ナル

背徳ノ條件ヲ虧缺スルヲ以テ刑罰權ノ大原則ヲ打破スルモノニ非サル無キカ此問題ニ對シテハ既ニ總則第一條ノ下ニ於テ有意犯無意犯ヲ解クニ當リ詳述シタルニヨリ今コ、ニ復言セズ

違警罪ハ多ク犯意ナキモ之ヲ罰ス然レモ之ヲ罰スルニハ確然動カス可カラサルノ一條件アリテ此條件ヲ具備スルニアラサレハ之ヲ罰スルヲ得サルナリ即テ無意犯ハ犯意ナキモ之ヲ罰スレモ若シ懈怠ナキ時ハ罪トナラストイフ丁是ナリ此事タル總則第七十七條ノ下ニ於テ詳論セリ故ニコ、ニ多言セズ

違警罪ハ刑法ノ終尾ニ規定セラレタリ是レ各國其揆チ一ニシタル所ナリ而ルニ本罪ヲ刑法ノ終尾ニ置クカ爲メ且本罪ノ輕微ナルカ爲メ各國ノ立法者ハ他ノ重大ナル罪ニ比シテ其類別ヲ怠リ全ク性質ヲ異ニシタル者ヲ混淆シテ規定スルヲ見ル我刑法モ亦同一ノ譏ヲ免レス

即チ我刑法ハ之ヲ五類ニ區別シ罪ノ性質ニ因ラスシテ刑ノ輕重ニヨリテ區別セラレタリ佛國刑法ハ三類ニ區別シ獨逸白耳義ノ刑法亦數類ニ區別シタレモ何レモ罪ノ性質ニヨラス刑ノ輕重ニ基キタルヲ我刑法ト同一ナリ凡ソ罪ヲ類別セント欲セハ宜ク罪ノ性質ノ同一ナルモノヲ集メテ一類トナスヘシ是レ我立法者カ重罪輕罪ニ付キテ既ニ採用シタル所ナリ而ルニ本罪ニ至リテ俄然其主義ヲ豹變シタルハ實ニ遺憾ナラスヤ左ニ本法ノ規定ヲ掲ケテ以テ立法者ノ類別法ヲ示サ

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シタル者

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者

五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ

違背シタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲

サ、ル者

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ

他所ニ移シタル者

九人ヲ毆打シ創傷疾病ニ至ラサル者

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒介客止ヲ爲シタル者

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者

十二定マリタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但被告人偽

證ノ爲メ刑ヲ免カレタル時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下

ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受ケ傍

觀シテ之ヲ肯セサル者

三不熱ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者

四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ

違背シタル者

五人ノ通行ス可キ場所ニ在ル危險ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ

防圍ヲ爲サ、ル者

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘍シ又ハ驚逸セシメタル者

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者

八狂犬猛獸ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者

九變死人ノ檢視ヲ受ケヌシテ埋葬シタル者

十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十二公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下

ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

一濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

二制止ヲ肯セヌシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

三夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者

四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケヌ又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

五瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

六禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

七汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

刑法

八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

十死亡ノ申告ヲ爲サスシテ埋葬シタル者

十一流言浮説ヲ爲シテ人ヲ狂惑シタル者

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ人ヲ惑ハシ

テ利ヲ圖ル者

十三私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル

者

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタル者

十六道路橋梁其他場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ

類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ

又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ

故ナク通行ヲ妨ケタル者

三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サ

スシテ通行シタル者

四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者

五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背

シタル者

六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚

ハサル者



七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者  
 八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者  
 九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者  
 十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者  
 十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以

下ノ科料ニ處ス

一橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者  
 二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ木石薪炭等ヲ堆積シテ  
 行人ノ妨害ヲ爲シタル者  
 三馬車ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者  
 四小路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨害ヲ爲シタル者

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者  
 六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲ササル者  
 七制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタ  
 ル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫クヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ爲シ  
 タル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者  
 十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者  
 十一通路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者  
 十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者  
 十三路上ノ常燈ヲ消シタル者  
 十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

刑法

十五邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十六他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者

十七公園ノ規則ヲ犯シタル者

十八通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

以上ハ刑ニ因テ類別シタル違警罪ナリ予ハ更ニ罪ノ性質ニ付キ學理上ヨリ違警罪ヲ類別スルヲ勉ムヘシ即チ予ハ之ヲ左ノ四類ニ區別スヘシ

第一類、秩序ニ關スル違警罪(現行刑法第四百二十五條、一、二、三、四、五、六、七、八、十一、十二、第四百二十六條、一、二、五、六、七、八、第四百二十七條、一、二、三、四、五、八、十、十一、十二、十三、十五、十六、第四百二十九條、一、二、三、四、五、

七、八、九、十、十三、等)

第二類、衛生ニ關スル違警罪(同第四百二十五條十三、第四百二十六條三、四、第二百二十七條六、七、第四百二十八條六、第四百二十九條六、等)

第三類、風俗ニ關スル違警罪(同第四百二十五條三、第四百二十六條十、十一、第四百二十八條四、五、九、第四百二十九條十一、十二、等)

第四類、身軀財産ニ關スル違警罪(同第四百二十五條九、第四百二十六條十二、第四百二十七條九、第四百二十八條一、二、三、八、十、十一、等)

ホアソナード氏ハ其再閱修正草案ニ於テ亦罪ノ性質上ヨリ違警罪ヲ類別セリ其類別タル學理ニ合シ粗ホ我輩ト其基礎ヲ同フスト雖モ氏ハ違警罪ヲ重罪輕罪ノ區別ト其揆チ一ニスルヲ勤メタリ左ニ其類別ヲ示サン

第一、公益ニ關スル違警罪

- 一、公ノ安寧ヲ害スル罪
- 二、公ノ靜謐ヲ害スル罪
- 三、道路ノ安全及ヒ便益ヲ害スル罪
- 四、信用ヲ害スル罪
- 五、健康及ヒ衛生ヲ害スル罪
- 六、風儀ニ關スル罪
- 七、公ノ財産ニ關スル罪

第二、一個人ニ對スル違警罪

- 一、身軀ニ對スル罪
- 二、財産ニ對スル罪

既ニ一言シタルカ如ク歐洲各國ノ立法者ハ罪ノ性質上ヨリ違警罪ヲ

區別セス然リト雖モ近時公布セラレタル伊太利刑法ヲ觀ルニ實ニ違警罪ヲ罪ノ性質上ヨリ區別セリ即チ該刑法ハ違警罪ヲ四個ニ區別ス曰ク公ノ秩序ニ關スルモノ曰ク一般ノ健康ニ關スルモノ曰ク一般ノ風俗ニ關スルモノ曰ク公ノ財産保護ニ關スルモノ是ナリ分類明晰近時刑法ノ一大進歩トシテ光輝煌々宇内ヲ照スヲ觀ルヘシ

我刑法ハ違警罪ノ刑即チ拘留及ヒ科料ヲ五級ニ區別シテ罪ヲ定メタリ詳言スレハ一日以上十日以下ノ拘留及ヒ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ付キ其長短及ヒ多寡ヲ五箇ニ區別セリ僅々タル十日以下些々タル一圓九十五錢以下ノ刑ニ付キ之ヲ五箇ニ區別スルハ多キニ過クルノ弊アリト謂フヘシ然リト雖モ仔細ニ考察スレハ是レ區分其物ノ不可ナルニ非スシテ違警罪ノ刑罰ノ範圍ノ極メテ狹隘ニ失スルヨリ生スルノ結果ナリトス予曾テ總則第十七條ニ於テ我刑法ハ身軀

ノ自由ヲ拘束スル刑ノ刑期ヲ定ムルノ狹隘ニ失スルヲ一言シタリ  
 此言ヤ違警罪ノ刑期ニ於テ益々虛妄ナラサルヲ見ルヘシ夫レ違警罪ハ  
 罪ノ種類決シテ少キニアラス本法掲クル所ノモノ既ニ七十有餘アリ  
 其罪ノ中ニハ罪度ノ輕キアリ重キアリ重キモノハ決シテ十日ノ拘留  
 若クハ一圓九十五錢ノ科料ヲ科シテ満足スヘカラサルモノ有リ因テ  
 違警罪ノ刑ハ一層其範圍ヲ擴張スルヲ要ス特ニ科料ノ最寡額五錢ノ  
 如キ本邦人民ノ生活ノ度ヲ觀ルニ其額眞ニ輕少ニシテ以テ刑罰ト爲  
 スニ足ラサルモノト謂フヘシ故ニ科料ノ最寡額ハ一層其額ヲ増スヲ  
 要ス

予ノ違警罪ノ刑ハ大ニ其範圍ヲ擴張スヘシトイヒタルハ尙ホ他ニ一  
 理由ノ存スル者アリテ然ルナリ予常ニ謂ラク我刑法ハ違警罪中ニ規  
 定スヘキモノヲ輕罪中ニ置キタル處アリ例ヘハ公然猥褻ノ所業ヲ爲  
 シタル罪、風俗ヲ害スル冊子圖畫等ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル罪神  
 祠佛堂等ニ對シ公然不敬ノ所爲アリタル罪ノ如キ是ナリ此等ハ寧ろ  
 違警罪中ニ編入スルノ優レリト爲スニ如カス之ヲ違警罪ニ編入スル  
 時ハ勢現時ノ刑罰ノ範圍ヲ擴張スルノ必要ニ接ス可シ之ヲ要スルニ  
 違警罪ノ刑ハ大ニ其範圍ヲ擴張セサルヘカラス否ラサレハ則チ罪刑  
 相應セスシテ終ニ刑罰ノ目的警察ノ旨趣ヲ全フサルヲ得サルニ至ル  
 ヘシ

違警罪ハ他ノ重罪輕罪ト共ニ本法總則ニ於テ認メタル原則并ニ規定  
 チ適用セラル、モノナリ但シ總則ニ於テハ幾多ノ例外ヲ示シ以テ重  
 罪及ヒ輕罪ト區別シタルトニ注目セサルヘカラス例ヘハ違警罪ニ科  
 スル附加刑ハ沒收ニ止マルカ如キ違警罪ニ假出獄及ヒ復權ノ制並ニ  
 未遂犯罪從犯等ノ例ヲ用井サルカ如キ其他宥恕減輕(第八十三條)再犯

加重第九十三條數罪俱發(第一百一條)等ノ特例アリ詳細ハ既ニ各條下ニ於テ辯明シタルニヨリ今復タコ、ニ贅セス

第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ス

前數條ニ列記シタル違警罪ハ全國一般ニ適用セラル、モノナリ而ルニ地勢人情氣候風俗慣習等相異ルニ從ヒ各地亦別ニ罰スルノ必要アル違警罪アリ因テ違警罪ニハ一般的違警罪ト地方的違警罪トノ二種アリトス夫レ刑法ハ全國一般ニ適用スル所ノモノニシテ縱令地勢人風情俗慣習氣候等ノ殊別アルモ皆同一ニ其効力ヲ及ホスヘキモノナリ故ニ我立法者ハ一般的違警罪ノミチ此ニ規定シテ地方的違警罪ヲ規定スル丁チ爲サ、ルナハ然レモ其地方的違警罪ハ之ヲ如何ニスルカチ定ムルハ亦立法者ノ任ナリ是レ本條ノ設アル所以ナリ曰ク「各地

方便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ハ其罰則ニ從テ處斷ス」ト是レ立法者ハ本條ヲ設ケテ地方官廳ニ其地方限リノ違警罪ヲ定ムルノ權ヲ委任シタルモノナリ即チ各地方官廳ハ此法律ニ依リテ其地方ニ於ケル違警罪ヲ制定スルノ權利ヲ得タル者ト謂フヘシ

本條ハ地方官廳ニ地方的違警罪ヲ定ムルヲ得ル丁チ認メタリト雖モ其制裁條件等ヲ指示セス故ニ一見スレハ地方官廳ハ隨意ニ違警罪ヲ定メ其刑ノ輕重ノ如キハ顧慮スル所ニアラサルカ如シ然レモ是レ皮想ノ見ミノ地方官廳安ソ本法規定ノ範圍ヲ脫出スルヲ得ンヤ因テ地方官廳ハ本法規定ノ違警罪ノ刑即チ拘留科料沒收ノ三種ヲ以テ罰スルモノ、外ハ制定スルヲ得サルナリ  
以上之ヲ本條ノ正解ト爲ス

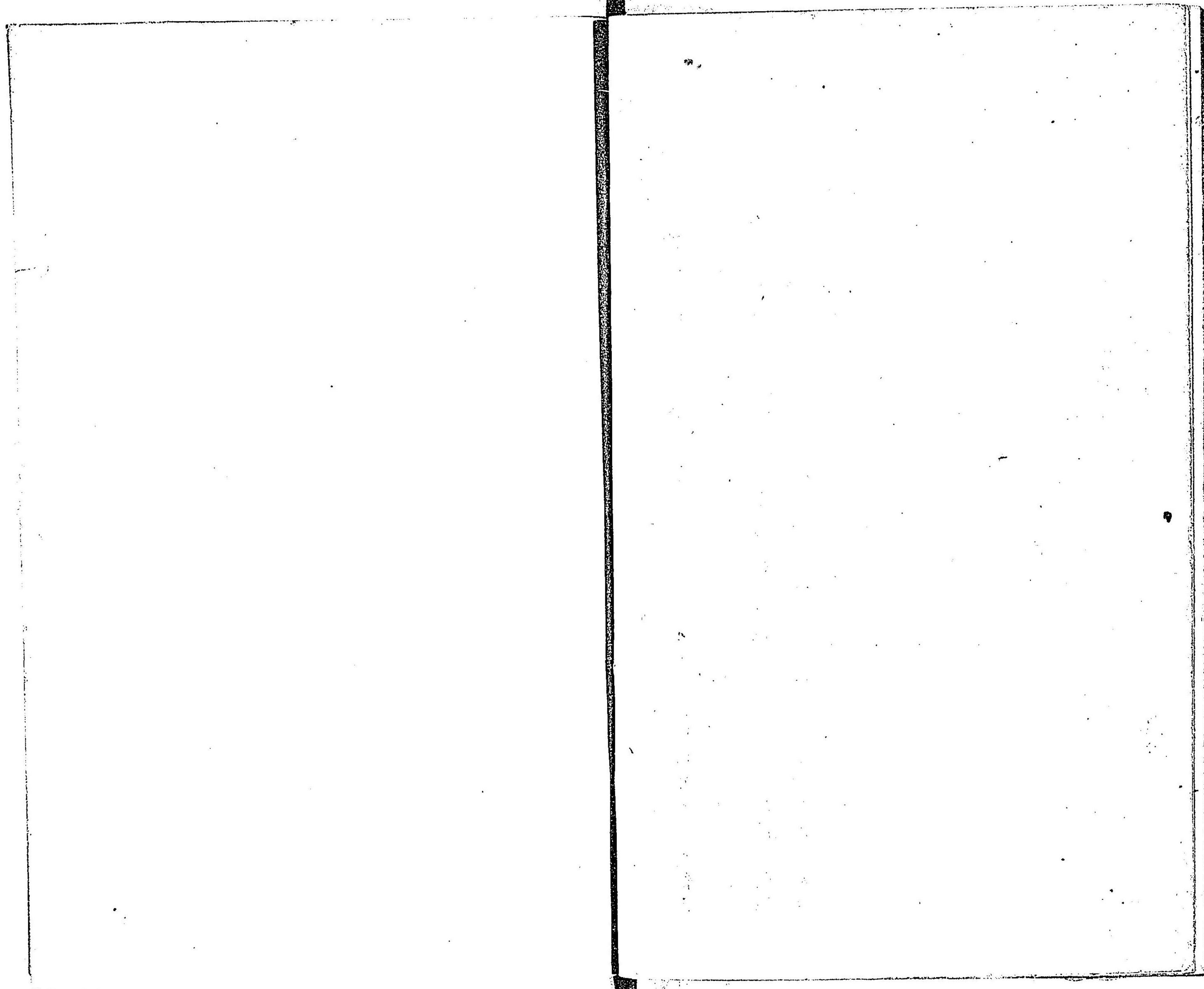
終リニ臨ミ一言スヘキモノ有リ本條ト帝國憲法第二十三條トノ關係

是ナリ憲法第二十三條ニ曰ク「日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ」ト本條ハ二様ノ解釋ヲ爲スヲ得ヘシ第一ニ曰ク臣民ハ法律ヲ以テシタル時ハ勿論否ラサルモ法律ノ定ムル所ニ依ル時ハ行政命令ヲ以テシテモ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルノ義務アリト第二ニ曰ク臣民ハ法律ヲ以テ定メタル逮捕監禁審問處罰ハ之ヲ受クルノ義務アルモ行政命令ヲ以テシタル者ハ之ヲ受クルノ義務ナシト第一ニ從ヘハ敢テ衝突ヲ生セスト雖モ第二ニ從ヘハ非常ナル結果ヲ生シ本條及ヒ本條ニ依リテ定メタル各地方ノ違警罪ハ皆無効トナルヘシ實ニ重大ナル問題ナリ今予ハ爰ニ之ヲ詳解スルハ敢テ辭セサル所ナレトモ憲法論ニ涉ルヲ以テ之ヲ略ス因テ他日ヲ待チテ予カ懷抱ヲ詳述スヘシ

以上縷々數十萬言爰ニ我現行刑法ヲ講了シタリ今此講壇ヲ退クニ當リ一言セント欲スル所ノモノ有ルナリ夫レ我刑法ハ其劈頭第一條ヨリシテ現ニ非難ヲ受ケ全編四百三十條其非難ヲ免ルモノ幾何カアル是レ予ノ既ニ諸君ト共ニ攻究シタル所ニヨリテ之ヲ知ルヲ得ヘシ抑、我現行刑法ハ既ニ屢述ヘタルカ如クボアソナード氏之ヲ起案シ司法省之ヲ翻譯シ併セテ修正増減シ元老院復タ之ヲ審査修正シタルモノトスボ氏ノ起案ハ現行法ニ比スレハ其善良ナルコト數等ナリト雖モ未ダ完全ナリト謂フ可カラス而シテ司法省之ヲ翻譯シ之ヲ修正増減シテ不良ヲ來シ元老院亦之ヲ審査修正シテ愈益不良ヲ致シタリ但シ法典編纂ノ事ハ一人ニテ之ヲ爲スニアラサレハ各人意見ノ衝突其他種々ノ事情ノ爲メニ終ニ不良ノ結果ヲ醸スコトアルハ古今ニ鑑ミ并ニ予ノ實驗ニ徴シテ明白ナル所且當時ト現時トハ法律思想發達ノ程度固

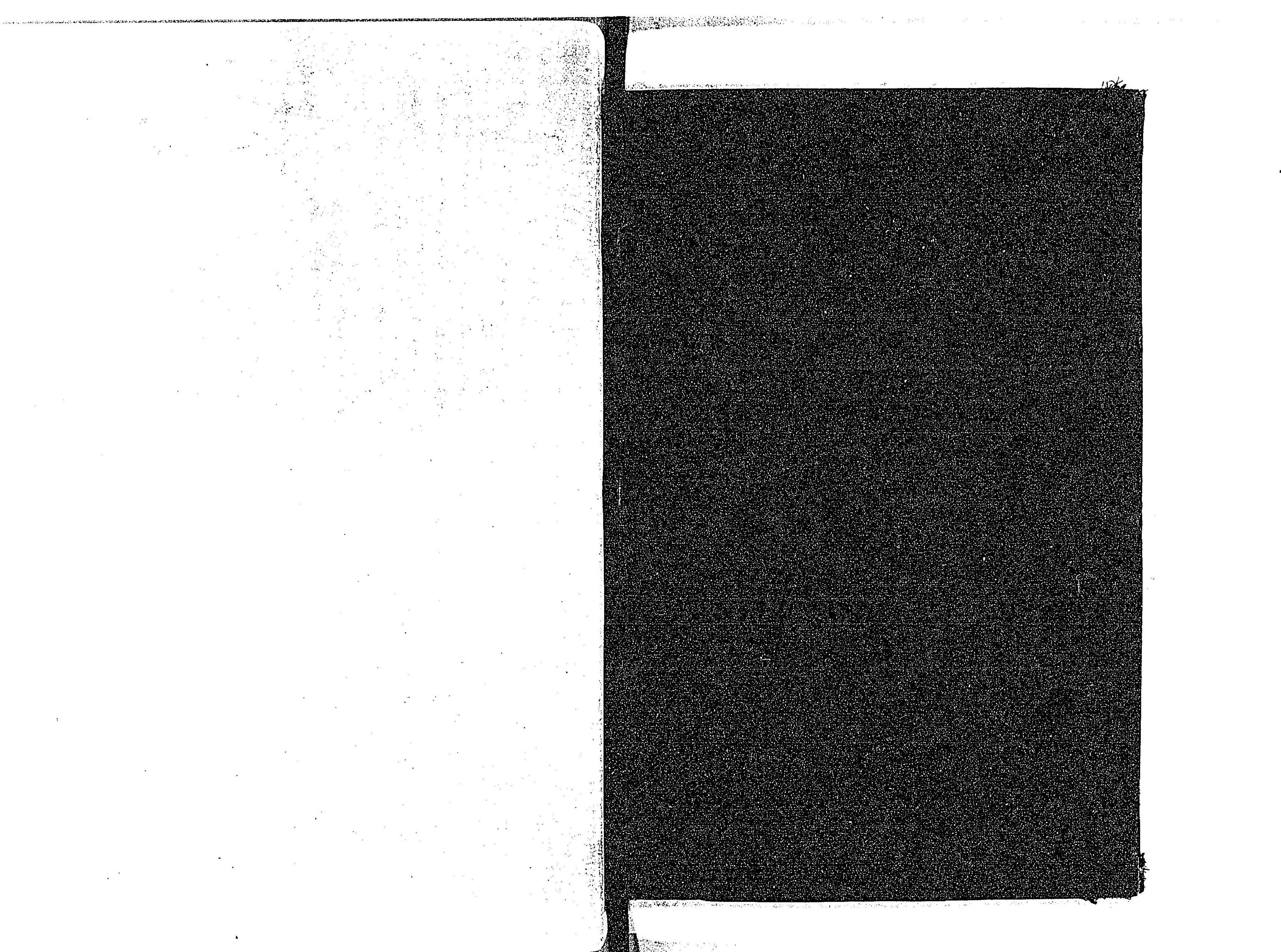
ヨリ同日ノ論ニ非サレハ予ハ決シテ當時編纂ニ從事シタル人ヲ咎ム  
 ルニアラス唯我刑法ハボ<sup>ル</sup>氏ノ草案以降一回ハ一回ヨリ不良トナリテ  
 今日ノ結果ヲ來シタルヲ悲ムノミ  
 一方ヨリ觀察スレハ我刑法ハ歐米諸國ノ刑法ニ比肩シテ耻ツル<sup>ト</sup>無  
 シ殊ニ其母法タル佛國刑法ニ比スレハ其上ニ出ツル<sup>ト</sup>數等ナリ且我  
 刑法ノ公布セラル、ヤ歐洲有名ノ學者輩之ヲ賞賛シテ止マサリシヲ  
 見ル然レ<sup>レ</sup>翻譯テ他ノ一方ヨリ觀察スレハ學者ハ我刑法其物換言スレ  
 ハ日本文辭ヲ以テ記述シタル者ニ付キテ賞賛シタルニアラスシテ歐  
 文殊ニ佛語ヲ以テ翻譯シタル者ニ付キテ賞賛シタルナリ夫レ佛語ヲ  
 以テ翻譯シタルモノハ之ヲ日本文辭ヲ以テ記述シタルモノニ比較ス  
 レハ其國語ノ精不精適不適固ヨリ日ヲ同フシテ語ルヘカラス因テ學  
 者ノ賞賛ハ眞個ニ我刑法ノ實價ヲ評シタルモノト謂フヲ得ス且我刑

法ノ各國刑法ニ比肩シテ耻ツル<sup>ト</sup>ナシトイフモ近時發布シタル伊太  
 利新刑法ノ如キハ刑法中ノ粹ナルモノニシテ超然我刑法ノ上ニ出ツ  
 嗚呼予ハ我國ノ將來ヲ念ヒ同胞ノ幸福ヲ慮リ一日モ早ク刑法ノ改正  
 アラン<sup>ト</sup>ヲ期望スルモノナリ刑法ヲ講了スルニ當リ感慨ヲ述フル<sup>ト</sup>  
 爾<sup>リ</sup>





14
20/10
20/10



14

334口

035719-000-8

14-334口

刑法講義 第2冊

宮城 浩蔵/述

M28?

BBP-0292



